

Magnus 800 プレートセッター

S、F、V、X、Z-Speed

オペレータ向け安全ガイド

日本語

ドキュメント番号 731-01124B-JA 改訂 A

著作権

© Kodak, 2008. All rights reserved.

Kodak、Creo、および Magnus はコダックの商標です。

Acrobat、Adobe、Distiller、Illustrator、PageMaker、Photoshop、および PostScript は、Adobe Systems Incorporated の商標です。

Apple、AppleShare、AppleTalk、iMac、ImageWriter、LaserWriter、Mac OS、Power Macintosh、および TrueType は、Apple Computer, Inc. の登録商標です。Macintosh は Apple Computer, Inc. の商標で、アメリカ合衆国およびその他の国々で登録されています。

Hexachrome、PANTONE、PANTONE Goe、PANTONE Hexachrome、および PANTONE MATCHING SYSTEM の所有権は Pantone, Inc. に帰属します。

PEARL、PEARLdry、PEARLgold、PEARLhdp、および PEARLsetter は、Presstek, Inc. の登録商標です。

XEROX は XEROX CORPORATION の商標です。

http://graphics.kodak.com/

ドキュメント番号 731-01124B-JA 改訂 A

最終更新日：2008 年 4 月

Magnus 800 プレートセッター オペレータ向け安全ガイド

このガイドで使用される記号 2
はじめに 2
Magnus 800 プレートセッターの概要 3
設置時の安全上の注意 8
主電源の切断とサーキット ブレーカーのリセット 9
空気圧の解除 9
基本的な安全対策、およびレーザー周辺の安全対策 10
サーマル イメージング レーザー ヘッド 11
筐体 11
セーフティ インターロック 12
コダック認定オペレータ 14
緊急停止ボタン 15
リモート サポート 15
遠隔操作時の安全上の注意 16
警告ラベル 16
Magnus 800 プレートセッターの警告ラベルの位置 19
ドラムの安全対策 23
ユニバーサル デブリス キャビネット（UDRC） 24
水冷システム 24
冷却システムの吸気口エア フィルタ 24
Magnus 800 Z-Speed プレートセッターの冷却器 24
Magnus 800 Z-Speed プレートセッターの警告ラベル 25
Magnus 800 Z-Speed プレートセッターの警告ラベルの位置 25
換気口 26
騒音発生レベル 27
ステータス ライト 27
プレートの取り扱い 27
詰まったプレートの除去 27
ドラム バキューム吸引口 28
電源、給気管 28
リチウム電池 28
ケーブル カバー 28
撤去 28

このガイドで使用される記号



危険：この記号は明らかに危険で、回避しないと死または深刻な怪我に至る状況を示します。この項目は、怪我の危険が伴う事故を警告するもので、物的な損害に限定される事故を警告するためには使用されません。



警告：この記号は潜在的に危険で、回避しないと死または深刻な怪我に至る可能性のある状況を示します。この項目は、怪我の危険が伴う事故を警告するもので、物的な損害に限定される事故を警告するためには使用されません。



注意：この記号は潜在的に危険で、回避しないと軽傷または中程度の怪我に至る可能性のある状況を示します。また、危険な行為や潜在的な物品損害の可能性を警告する場合もあります。

注意：注意する必要がある重要な追加情報が記載されています。

はじめに

Kodak Magnus 800 プレートセッターを操作する方は、まずこの安全ガイドを参照する必要があります。Magnus 800 プレートセッターの運用、管理に先立ち、このガイドをよくお読みください。

注意：この安全ガイドは、Magnus 800 プレートセッターのみを対象にしています。Magnus シングルカセット オートローダーや、Magnus マルチカセット オートローダーを使用する場合は、それぞれの製品に対応した安全ガイドを参照してください。

この製品は、IEC60825-1 および USA 21 CFR 1040 に基づく、クラス 1 レーザー製品です。オペレータおよびサービスに関する安全ガイドを守って運用していただく限り、危険なレーザー光が照射されることはありません。

安全確認リスト – 照射の危険を避けるために



警告：プレートセッター内部には、可視および不可視のレーザー源があり、目に照射を受けると非常に危険です。

1. プレートセッターの外側ドア、および内部の保護壁はすべて、傷や割れがなく、完全な状態であることを確認してください。
2. レーザーその他のインターロック機構の強制解除はしないでください。
3. レーザー サーマル ヘッドとドラムの間に物をはさまないでください。
4. 内部のドアやカバーを開けないでください。工具を使用しないでください。
5. 上記のいずれかに問題がある場合はプレートセッターの使用をやめ、サポート センターにお問い合わせください。



警告：レーザー インターロック機構が働いてレーザー光源を遮断するまでには、最大 3 秒かかります。したがって、扉やパネルを開いた直後は、プレートセッター内部に触れないようにしてください。

プレートセッターの設計、製造に当たっては、オペレータやサービス担当者を危険にさらすことのないよう、特段の注意を払いました。
プレートセッターの運用、管理に際しては、ご自身だけでなく周囲の方の安全も保つため、この「安全ガイド」をよく読んで守ってください。

Magnus 800 プレートセッターの概要



図1：前面



図2：トップ パネルとローディング プラットフォームを上げた状態の前面



図 3：背面



図 4：左側



図 5：右側

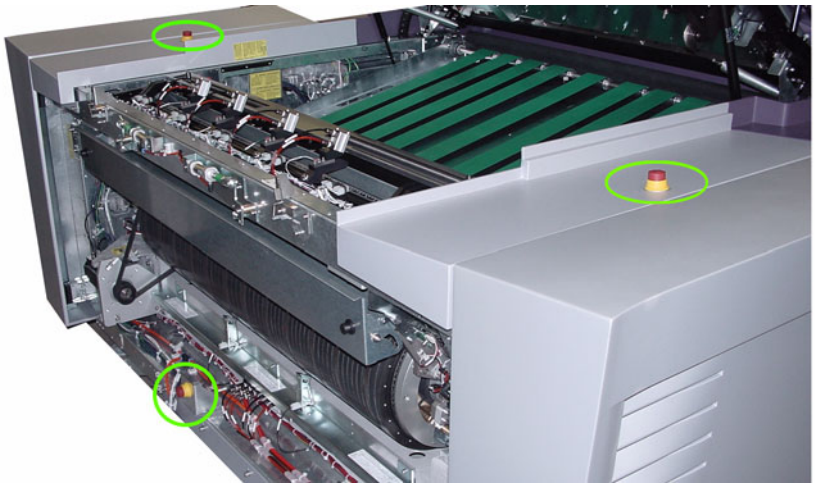


図 6：プレートセッターの緊急停止ボタン

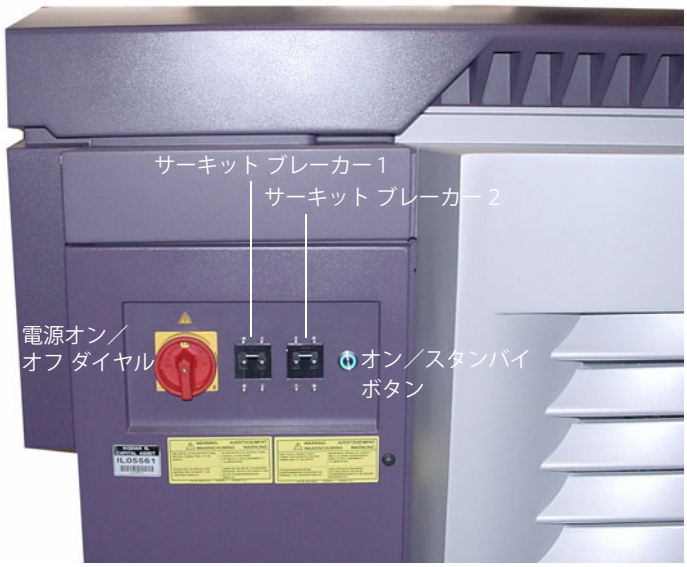


図 7：電源オン／オフ ダイヤル、サーキット ブレーカー、および オン／スタンバイ ボタン



図 8：トップ パネルを上げた状態のプレートセッター



図 9：トップ パネル、ローディング プラットフォーム、およびアンローディング プラットフォームを上げた状態のプレートセッター



図 10：フロント パネルを取り外した状態のプレートセッター

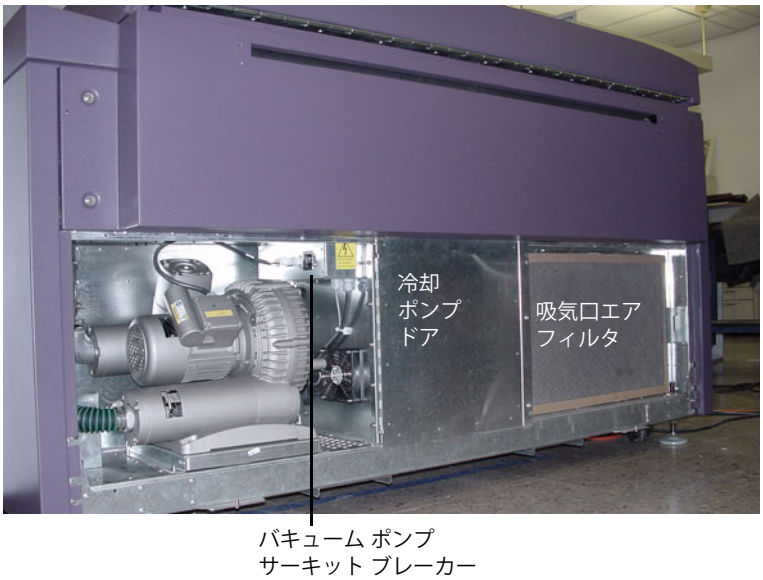


図 11：下部リア パネルを取り外した状態のプレートセッター

警告：図 11 は Magnus S、F、V、および X-Speed プレートセッターにのみ適用されます。オペレータは、Magnus 800 Z-Speed プレートセッターの下部リア パネルを取り外さないでください（21 ページの図 17 を参照）。

設置時の安全上の注意

設置作業は認定サービス担当者にお任せください。

Magnus 800 プレートセッターの設置作業は専門の技術者が行います。この技術者は、レーザー システムの取り扱いや調整、プレートセッターの機構や電気系統に関して訓練を受け、必要な認定を受けています。

警告：専門技術者による設置作業が終わるまで、プレートセッターを電源につながないでください。

警告：認定されたサービス担当者だけが、Magnus 800 プレートセッターの設置や保守などの作業を許可されています。

警告：認定されたサービス担当者だけが、Magnus 800 プレートセッターにシングル カセット、またはマルチ カセット オートローダーを取り付けることを許可されています。認定されたサービス担当者だけが、Magnus 800 プレートセッターからシングル カセット、またはマルチ カセット オートローダーを取り外すことを許可されています。

主電源の切断とサーキット ブレーカーのリセット

主電源の切り離し

Magnus 800 プレートセッターには、ダイヤル式の主電源切断スイッチが用意されています。このスイッチは、プレートセッターの左側にあるサーキット ブレーカー ボックスにあります。ここには、オン／スタンバイ プッシュ ボタンや、2 つのサーキット ブレーカー（CB1 と CB2）もあります。

警告：主電源からの電力供給を完全に遮断するには、ダイヤル スイッチを「0」にセットするか、主電源ケーブルを抜く必要があります。

注意：緊急停止ボタンは、プレートセッターの右上と左上、そして上部フロント パネルの裏側にあります。緊急停止ボタンを押すと、現在行われている操作が停止します。ただし、主電源が切断されることはありません。

サーキット ブレーカーのリセット

警告：サーキット ブレーカーをリセットする場合、まずメインのダイヤル スイッチをオフにしてください。次に、サーキット ブレーカーをリセットしてから、メインのロータリー スイッチをオンにします。

警告：サーキット ブレーカーが繰り返し切断される場合は、プレートセッターをオフにして、サービス担当者までご連絡ください。

注意：3 番目のサーキット ブレーカーの近くにあるバキューム ポンプは、熱くなっていることがあるため十分に注意してください。

注意：サーキット ブレーカー CB1 は、3 つの内部電源装置およびオートローダー用で、CB2 は、ドラム、ファン、および冷却器用です。

注意：プレートセッター背面のバキューム ポンプの近くには、ドラム バキューム ポンプ用の特別なサーキット ブレーカーがあります（図 11 を参照）。

注意：オペレータは、この 3 つのサーキット ブレーカーをリセットすることができます。

空気圧の解除

プレートセッターに供給されている空気圧を解除するには、側壁にある空気圧バルブを閉じてください。

基本的な安全対策、およびレーザー周辺の安全対策

基本的な安全対策、およびレーザー周辺の安全対策のセクションでは、次の項目について説明しています。

- サーマル イメージング レーザー ヘッド
- 筐体
- セーフティ インターロック
- 警告ラベル



警告：このマニュアルで指定されている以外のコントロールや調整を行ったり、手順を実行すると、危険な放射線にさらされる可能性があります。

プレートセッターには、プレートを露光するために、非常に危険度の高いレーザー システムが組み込まれています。ただし、プレートセッター自体は国際安全基準の IEC60825-1 および米国の基準 USA 21 CFR 1040 に準拠したクラス 1 レーザー製品です。操作やサービスに関する安全上の注意を守って運用していただく限り、オペレータやサービス エンジニアがレーザーによる危険にさらされることはありません。



警告：レーザー光やその照射には、目に見えるものと見えないものがあり、いずれも目や皮膚に深刻な影響を与えます。可燃性物質があれば火災につながる恐れもあります。ごくわずかのレーザー光が目に当たっただけでも、また、それが光沢面／無光沢面からの反射光であっても、失明や視力低下に到ることがあります。



警告：不審な点がある場合は、認定サービス エンジニアが正常であることを確認するまで、プレートセッターを操作しないでください。



警告：筐体、インターロック スイッチ、または緊急停止ボタンなどに目に見える損傷がある場合は、Kodak 認定サービス担当者が修理するまでプレートセッターを使用しないでください。また、ドアやパネルが正常に閉まらない場合も同様に、修理されるまでの間は使用しないでください。



警告：プレートセッターの電源がオンになっている間に設置場所に入らなければならない場合、以下に説明する中に 1 つでも不審な点があれば、あらかじめプレートセッターの電源をオフにしてから入室してください。



警告：オペレータは、工具の使用を禁じられています。



警告：サービス エンジニアがインターロック解除機構を有効にしており、プレートセッターの右側ドアが開いている場合は、そちら側に絶対立ち入らないようにしてください。



警告：オペレータは、Magnus 800 Z-Speed プレートセッターの下部リア パネルを取り外さないでください。工具を使用しなくとも取り外せる場合でも同様です。



警告：Magnus 800 Z-Speed プレートセッターの下部リア パネルの裏側にある金属チューブ（21 ページの図 17）がないか破損している場合は、危険なレーザー光が洩れる恐れがあります。ごくわずかのレーザー光が目に当たっただけでも、失明に至る恐れがあります。

サーマル イメージング レーザー ヘッド

Magnus 800 プレートセッターの内部には、非常に危険度の高いサーマル イメージング レーザー ヘッドが組み込まれています。ここには、次の 2 種類のレーザー発光体があります。

- 書き込みレーザー（不可視）
- オート フォーカス用レーザー（可視、赤色）



警告：サーマル イメージング レーザー ヘッドをプレートセッターの外部から、あるいはドアやパネルを開いた状態で操作しないでください。また、レーザー安全機構を解除しないでください。レーザー光が直接当たったり、光沢面／無光沢面から反射して当たったりすると、失明や皮膚障害に到ることがあります。また、可燃物があれば火災の恐れがあります。



危険：ごくわずかのレーザー光が目に当たっただけでも、また、それが光沢面／無光沢面からの反射光であっても、失明や視力低下に到ることがあります。

書き込みレーザー光は不可視です（クラス IV、波長約 830 nm）。

セーフティ インターロック スイッチは、オペレータやサービス担当者でも、決して解除しないでください。

オート フォーカス用レーザー光は赤色に見えます（クラス IIIB、波長約 670 nm）。

オート フォーカス用レーザーのインターロック機構は、認定サービス エンジニアが解除する場合があります。その際には、サービス安全マニュアルに記載された、安全な手順で実施することになっています。



危険：オート フォーカス用レーザーは、直接／間接を問わず、見ないようにしてください。レーザー光を直接見たり、その反射光が目に入ると、失明に至る恐れがあります。

筐体

レーザー インターロック機構が搭載され、レーザー光が洩れて周囲の人に害を与えないよう保護する働きがあります。外部ドア、外部パネル、内部保護壁から構成されています。内部保護壁は、サービス エンジニアが取り外すことがありますが、正しい位置にはめて使わなければならない旨の警告ラベルが貼ってあります。内部保護壁は、プレートセッターのローディング／アンローディング開口部や、外部ドアやパネルの隙間などからレーザー光が洩れるのを防ぐ働きがあります。適切に保護機能が働くためには、外部筐体に内部保護壁を正しく取り付ける必要があります。



警告：保守サービス後、プレートセッターの電源をオンにする前に、サービス エンジニアは、外部ドアや外部パネル、内部保護壁がすべて完全で破損もなく、正しい位置にあることを改めて確認する必要があります。



警告：Magnus 800 Z-Speed プレートセッターの保守サービス後、サービス エンジニアは、下部リア パネルの裏側にある金属チューブが損傷のない完全な状態であることを改めて確認する必要があります。可視または不可視の危険なレーザー光がサービス エンジニアやオペレータに放射される可能性があるためです。



危険：筐体に損傷があると、プレートセッターをオンにしたとき、外部ドアが閉じていても、数ワットの可視または不可視のレーザー光が洩れる恐れがあります。レーザー照射は目や皮膚に深刻な影響を与えます。ごくわずかのレーザー光が目に当たっただけでも、また、それが光沢面／無光沢面からの反射光であっても、失明や視力低下に到ることがあります。



注意：トップ パネルとローディング プラットフォームは、Magnus 800 Controller のコマンドを使って上げることができます。トップ パネルは非常に重く、上げる際にはかなり大きな力がかかります。トップ パネルやローディング プラットフォームを上げる際には、プレートセッターの周囲に人がいないことを確認してから作業を行ってください。



注意：プレートセッターのトップ パネルとローディング プラットフォームはどちらも非常に重く、スプリング式の開閉機構が組み込まれ、上方に開きます。頭を近づけないよう気を付けてください。

トップ パネルを開いたら、完全に上げてください。これでトップ パネルとローディング プラットフォームの両方が安定します。



警告：プレートセッターの各所に、金属の突起があります。金具で目や体に怪我をしないように注意してください。このような金具がある場所には、手に突起が刺さるイラストが描かれた、三角の警告ラベルが貼られています。
このような部品で怪我をしないようにお気を付けください。



警告：トップ パネルとローディング プラットフォームを上げた場合、TEC/LEC 部品を取り扱ったり、穿孔されたゴミの清掃や詰まったプレートの除去などの目的で、作業員が前面上部パネルを開くことがあります。これらの作業には、工具は必要ありません。ただし、開閉に工具が必要なドア、保護壁、またはパネルをオペレータが開けることは固く禁じられています。

セーフティ インターロック

セーフティ インターロックは、プレートセッターのレーザーやその他の機械部分の異常による危険から身を守るための、重要な手段です。ただし、その安全機能を生かすためには、ここで解説している安全上の注意を守って運用する必要があります。



警告：プレートセッター内部の部品や電線に触れた場合、セーフティ インターロックがあっても、人体に高電圧が加わるのを防ぐことはできません。ただし、専用の工具がない限り、これらの部品に触れることはできないようになっています。



警告：レーザー インターロック機構が働いてレーザー光源を遮断するまでには、最大 3 秒かかります。したがって、扉やパネルを開いた直後は、プレートセッター内部に触れないようにしてください。

インターロック スイッチは、インターロックされたドアやパネルが開かれた場合は常時、レーザー システム、ドラム モーター、および他のモーターから電力を遮断するように設計されています。



警告：いかなる場合でも、インターロック機構の強制解除はしないでください。

- 認定サービス担当者であっても、書き込みレーザーのインターロックを強制解除することは禁じられています。ただし、フォーカス用レーザーやモーターのインターロックについては、正しい手順に従って解除することは許可されています。

次の表に、プレートセッターの各部分に施された安全対策に関する情報を示します。

場所	機能	説明
トップ パネル／ローディング プラットフォーム - 右側	レーザー、モーターの停止	セーフティ インターロック スイッチ(1個)
トップ パネル／ローディング プラットフォーム - 左側	レーザー、モーターの停止	セーフティ インターロック スイッチ(1個)
左サイド ドア	レーザー、モーターの停止	セーフティ インターロック スイッチ(1個) インターロック ディフィータ（1個） フォーカス レーザー インターロック強制解除キー（1個）* ドア近くの緊急停止ボタン（1個） **注意：**モーターのインターロックを解除するには、ディフィータを差し込んでください。フォーカス レーザーのインターロックを(モーターのインターロックも同時に)解除するには、ディフィータを差し込んでキーを回す必要があります。 *Magnus 800 Z-Speed プレートセッターには、フォーカス レーザー インターロック強制解除キーはありません。
右サイド ドア	レーザー、モーターの停止	セーフティ インターロック スイッチ(1個) ドア近くの緊急停止ボタン（1個）
フロント パネル	レーザー、モーターの停止	セーフティ インターロック スイッチ(1個)
フロント パネル内部（裏側）- 中央	レーザー、モーターの停止	緊急停止ボタン（1個）
上部リア パネル - 右側	レーザー、モーターの停止	セーフティ インターロック スイッチ(1個)
上部リア パネル - 左側	レーザー、モーターの停止	セーフティ インターロック スイッチ(1個)

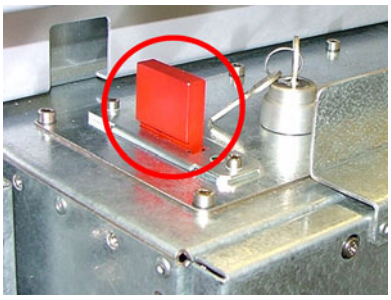
表1：プレートセッターのインターロックと緊急停止スイッチの機能と場所



警告：オペレータは、インターロック スイッチの強制解除、強制解除スイッチの作動、工具を使っての操作、強制解除キーの操作はしないでください。
注意：Magnus 800 Z-Speed プレートセッターには、強制解除キーはありません。

コダック認定オペレータ

プレートセッターの強制解除スイッチに赤い強制解除キーを差し込むことができるのは、セーフティ インターロックに関する特別なトレーニングを受けたコダック認定オペレータだけです。



警告：いかなる場合でも、コダック認定オペレータ以外の方が、赤い強制解除キーを使用してはいけません。

危険：扉やパネルが開いた状態でインターロック スイッチを強制解除したり、何らかの原因でインターロック機構が働かなくなったりすると、指をはさむなどの機械的な危険があるばかりでなく、数ワット程度のレーザー光（可視／不可視）が洩れる恐れがあります。レーザー照射は目や皮膚に深刻な影響を与えます。ごくわずかのレーザー光が目に当たっただけでも、また、それが光沢面／無光沢面からの反射光であっても、失明や視力低下に到ることがあります。

警告：Magnus 800 Controller に、レーザー インターロック システムに関する警告メッセージが表示された場合、直ちにプレートセッターを停止し、認定サービス エンジニアが問題ないことを確認するまでは使わないようにしてください。

注意：インターロック システムの動作に何らかの異常が検出された場合、Magnus 800 Controller に警告メッセージが表示され、書き込みレーザー、フォーカス レーザー、および可動機構が遮断されます。ただし、特にインターロック スイッチ 1 つだけに異常が発生した場合などは、必ず検出できるとは限りません（例：右側および左側ドア内）。

緊急停止ボタン

緊急停止ボタンは、プレートセッターの両サイドに 1 つずつ、および上部フロント パネル内部に 1 つあります。このボタンを押すと、すべての可動機構とレーザー照射が停止します。
プレートが外れたり、機械部に異常が発生したと思われるような場合には、この緊急停止ボタンを使うとすぐにドラムの回転を止めることができます。



警告：緊急停止ボタンを押しても、プレートセッター内の電源供給は切断されません。



警告：緊急停止ボタンを押すことによりレーザー照射は停止しますが、ボタンを押すことによりレーザーによる危険がなくなる訳ではありません。レーザーが目に損傷を与えるまでの時間は極めて短いため、緊急停止が実際に有効になる前に、目に被害が及ぶ可能性があります。

注意：緊急停止を行った後に、それを解除したら、Magnus 800 Controller から、プレートセッターをシャット ダウンして、再起動してください。

リモート サポート

リモート サポートを利用する場合、Magnus 800 プレートセッターをお客様先（オンサイト）と遠隔地（リモートのサポート センター）の両方から同時に操作することができます。そのため、インターロックが解除されており、プレートセッターが遠隔地から操作されているような場合は、サービス エンジニアやコダック認定オペレータが、モーターやフォーカス レーザー照射による危険にさらされる可能性があります。以下の 3 つのいずれかに当てはまる状況では、遠隔地からのプレートセッターの操作は可能ですが、十分に注意する必要があります。

- プレートセッターのドア、パネル、およびトップ カバーが閉じられている。プレートセッターを遠隔操作する最も安全な方法です。
- インターロック機構がないドアやパネルが開かれている。このような状況でプレートセッターを遠隔地から操作するのは危険です。このような場合は操作しないでください。



警告：インターロック機構がないドアやパネルが開いている場合は、プレートセッターの遠隔操作は絶対に行わないでください。

- インターロック機構があるドアやパネルは、サービス エンジニアやコダック認定オペレータのみが解除できるようになっている。このような状況でプレートセッターを遠隔地から操作する場合でも、潜在的な危険が存在しています。以下の警告を遵守する場合にのみ、この方法を利用するようにしてください。



警告：リモート サポート センターの担当者は、プレートセッターの遠隔操作を開始する前に、必ず電話でお客様先に連絡するようにしてください。



警告：インターロック機構の解除は、サービス エンジニア、またはコダック認定オペレータに限定してください。



警告：遠隔地からプレートセッターを操作しているときには、フォーカス レーザーのインターロックを解除しないでください。書き込みレーザーのインターロックは、絶対に解除しないでください。

遠隔操作時の安全上の注意

サポート センター側でプレートセッターの操作を開始する際には、事前にお客様の許可を得るようにしてください。
お客様側（オンサイト）のモニタには、以下のメッセージが表示されます：Machine Name\User Name is requesting to control your session remotely.Do you accept the request?（＜コンピュータ名＞\＜ユーザー名＞がリモート セッションを要求しています。承認しますか？）この要求確認メッセージは、30 秒でタイム アウトになります。30 秒以内に要求が承認されない場合は、自動的に要求がキャンセルされます。要求を許可してリモート サポートを有効にするには、メッセージが表示されてから 30 秒以内に、サービス エンジニアまたはコダック認定オペレータが［**Yes**］をクリックする必要があります。

警告：遠隔地からプレートセッターの操作を要求するメッセージを承認する前に、次の事項を確認してください。

- サービス エンジニアやコダック認定オペレータは、機械部やレーザーにより危険にさらされるような人がいないことを確認する必要があります。
- リモート サポート要求を承認する前に、強制解除キーを使用してフォーカス レーザーのインターロックを解除しないようにしてください。また、遠隔操作時にも、インターロックを解除しないでください。書き込みレーザーのインターロックは、絶対に解除しないでください。

リモート サポートは、次のいずれかの手段で終了（切断）することができます。

- リモート サポート センターのコンピュータから。
- ローカル コンピュータから。
  ローカル コンピュータからリモート サポートを切断するには、ローカル デスクトップ上にあるリモート サポート アイコンをダブルクリックしてください。

  確認のメッセージが表示されます。サポート作業を終了するには［**Yes**］をクリックします。作業を続ける場合は［**No**］をクリックします。
- 緊急停止ボタンを押す。

警告ラベル

警告：ラベルの言語が適切でない場合は、サービス エンジニアに連絡してください。

警告：警告ラベルはオペレータおよびサービス担当者の安全のためのものです。警告には必ず従ってください。

このセクションでは警告ラベルを、次のセクションではラベルが貼られている位置を示します。警告ラベルが良好な状態であることを確かめ、貼り直す必要がある場合はサービス エンジニアに連絡してください。

注意：プレートセッターには地域に応じた言語の警告ラベルが貼ってあります。



ラベル 1：382-00894A



ラベル 2：382-00960A



ラベル 3：382-01057A



ラベル 4：382-01074A



ラベル 12：382-01008A



ラベル 16：382-01020A



ラベル 19：382-01032A



ラベル 20：382-01274A



ラベル 21：382-01289A



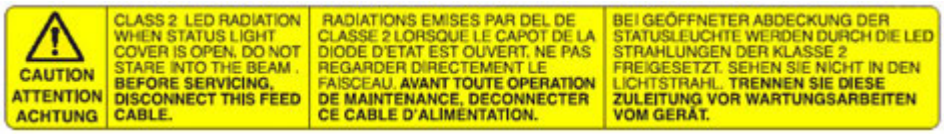
パーツ ナンバー：374A9C009



パーツ ナンバー：374A7B951



パーツ ナンバー：374A7B6787



パーツ ナンバー：382-01776A

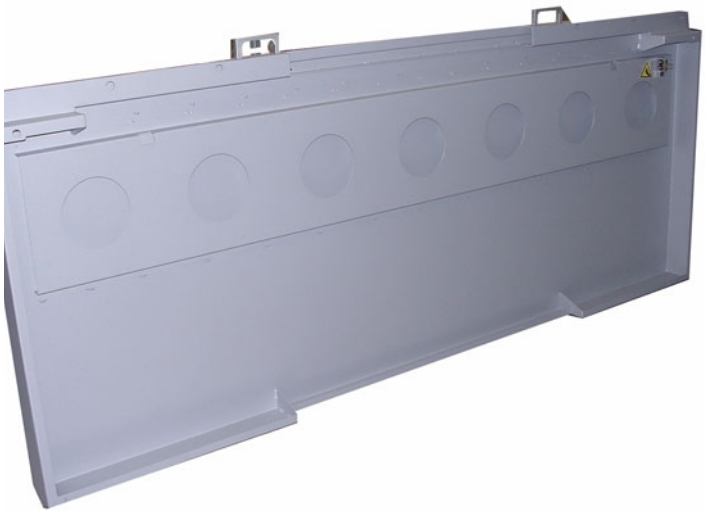
Magnus 800 プレートセッターの警告ラベルの位置

警告：外すのに道具が必要なパネルやカバーは、一般のオペレータは外さないようにしてください。

警告：オペレータは、Magnus 800 Z-Speed プレートセッターの下部リア パネルを取り外さないでください。工具を使用しなくとも取り外せる場合でも同様です。



図 12：左および背面



PN 374A9C009

図 13：フロント パネルの裏側

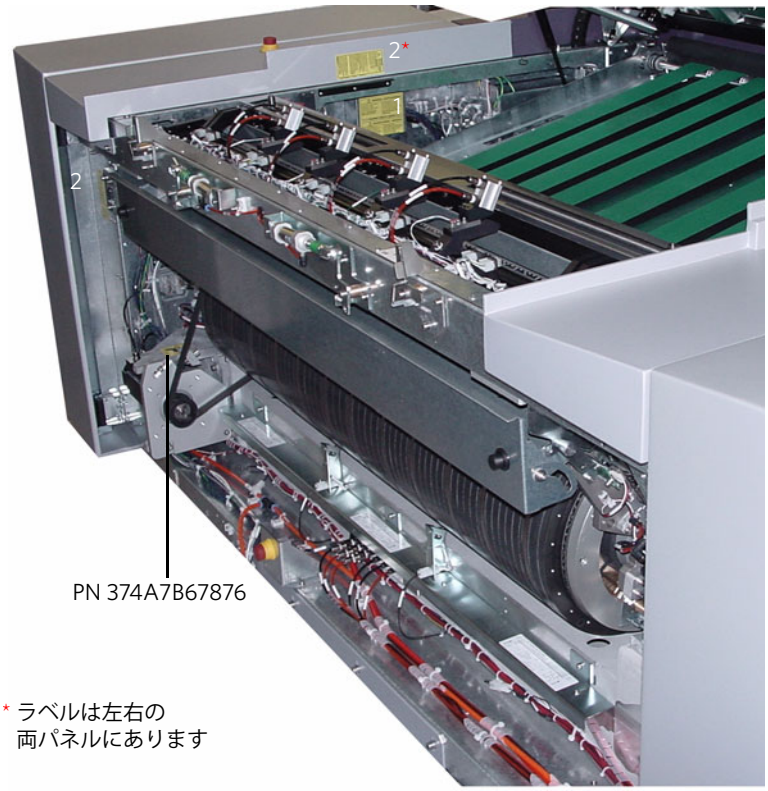
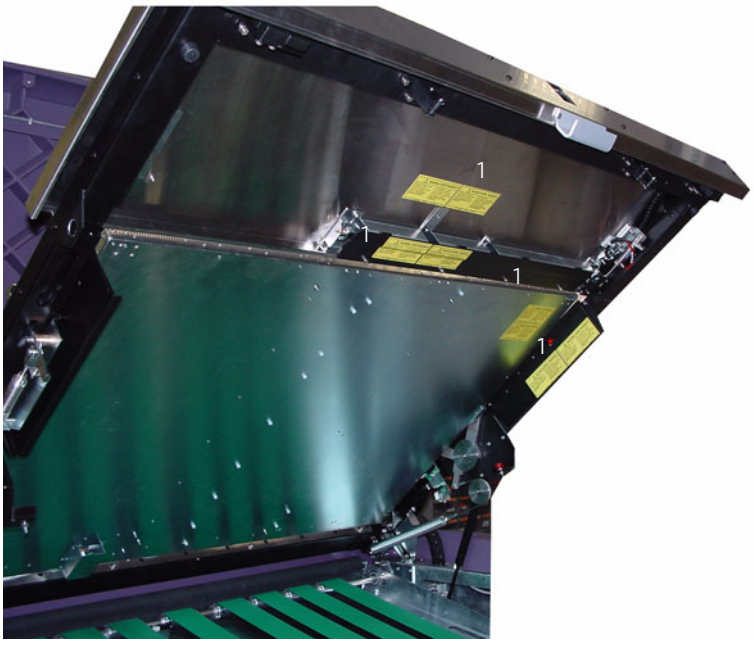


図 14：フロント パネルを取り外した状態のプレートセッター前面



* ラベルはプレートセッターの左サイドにあります

図 15：トップ パネルとローディング プラットフォームを上げた状態の前面

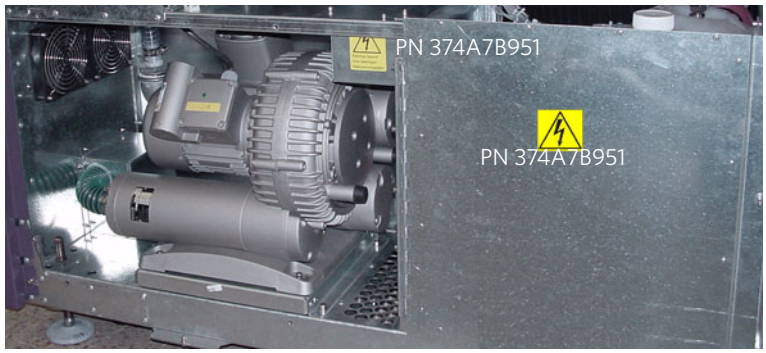


図 16：下部リア パネルを取り外した状態の Magnus 800 S、F、V、および X-Speed プレートセッターの背面

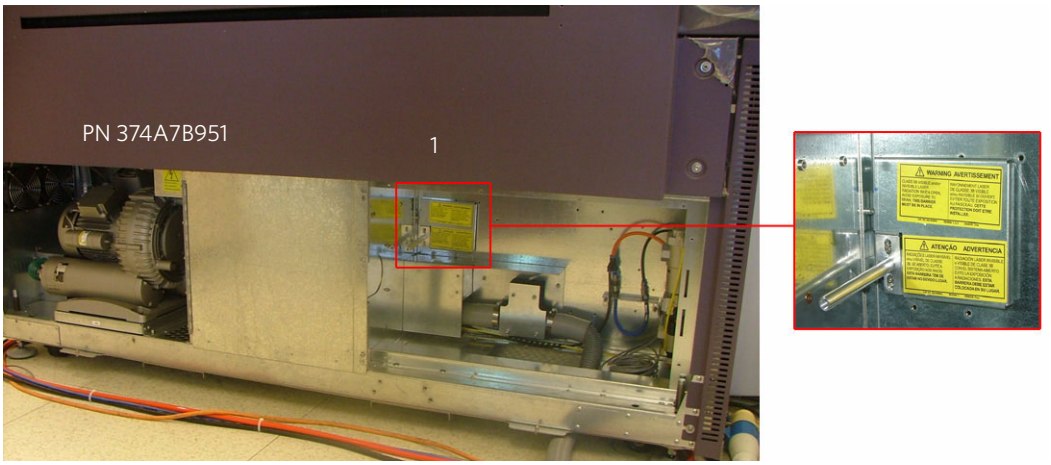


図 17：下部リア パネルを取り外した状態の Magnus 800 Z-Speed プレートセッターの背面



図 18：プレートセッターのトップ パネル下面

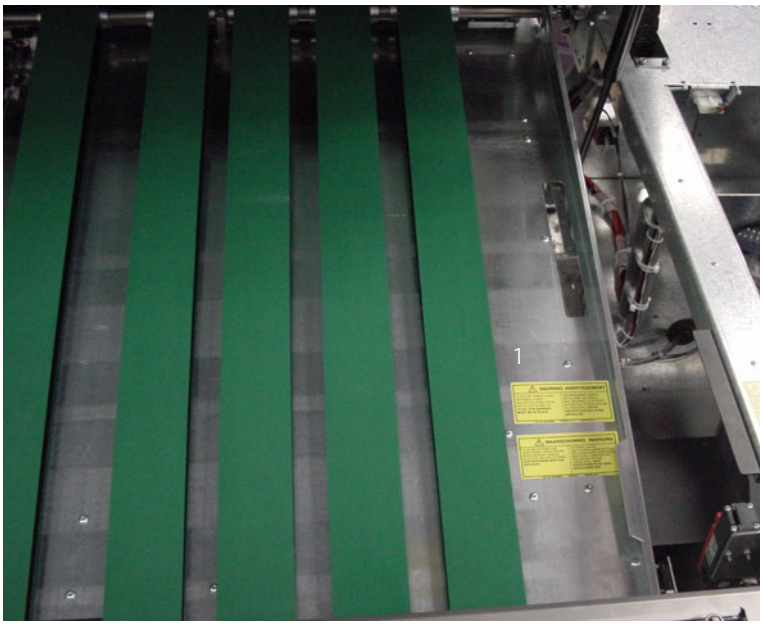


図 19：アンローディング プラットフォーム

ドラムの安全対策

Magnus 800 プレートセッターの内部ではドラムが回転しています。ロードされたプレートはドラムに巻きつき、その後露光、アンロードされます。

通常、このドラムは最高 550 回転／分で回転します。回転しているドラムに異物が接触すると、安全システムやレーザー サーマル ヘッドを含む内部機器や保護筐体に損傷を与える可能性があります。

Magnus 800 Controller から、トップ パネルを開くことができます。これにより、ドラムがタイムアウトになり、停止します。トップ パネルは、ドラムがほぼ停止した後にのみ開きます。



警告：トップ パネルのロックが外れた後、ドラムが完全に静止するまでに 3 秒以上かかるようであれば、修理が必要です。電源を切り、サービス エンジニアに連絡してください。

回転するドラムに巻き込まれて怪我をする恐れがあるので、オペレータ、サービス エンジニアとも、以下に説明する注意事項を守ってください。



警告：指や手をドラム付近に差し込まないようにしてください。隙間にはさまれて抜けなくなる恐れがあります。



警告：プレートセッターの筐体内や上に、道具や部品などを置かないでください。筐体内に入り込み、プレートセッターの安全システムを破損したり、オペレータやサービス担当者に危険が及ぶ恐れがあります。



警告：いかなる場合でも、インターロック スイッチを解除したり、インターロック解除機構を有効にしないでください。



警告：サービス エンジニアがインターロック解除機構を有効にし、上部フロント パネルが開いている場合は、プレートセッターの正面には立たないでください。また、動いている部品には触れないでください。



注意：詰まったプレートを取り除いたり、他の保守作業を行うためにトップ パネルを上げたり、上部フロント パネルを開く必要がある場合は、ドラムや他の可動部に巻き込まれることのないよう、衣服その他にも十分に注意してください。ネクタイを外し、長い袖はまくり上げ、アクセサリーも外し、長い髪はまとめてください。

ユニバーサル デブリス キャビネット（UDRC）

UDRC はプレートセッターに接続されて、Magnus 800 の一部を構成します。プレートセッターの動作中、埃や煙、汚染物質、気化した有機溶剤などが発生するので、これを濾過して取り除く装置です。

フィルタの交換はサービス エンジニアに依頼してください。

警告：フィルタ装置は所定の技術安全規則に基づいて製造されています。ただし、フィルタの取り扱いを誤ると、死傷事故や物的損害を引き起こす恐れがあります。

水冷システム

プレートセッターには、レーザー サーマル ヘッドを冷却するための水冷システムが組み込まれています。このシステムは、水をベースにした冷却液を使用します。水冷システムには、一般の作業者が自分で整備できるような箇所はありません。全体が密封されているので、冷却液が洩れることはないはずです。万一洩れている場合はプレートセッターの電源を切り、サービス エンジニアに連絡してください。

危険：冷却液が洩れている状態で電源を入れると、感電や火災の恐れがあります。

冷却システムの吸気口エア フィルタ

重要:このセクションは Magnus Z-Speed プレートセッターには適用されません。24 ページの「Magnus 800 Z-Speed プレートセッターの冷却器」を参照してください。

冷却システムの吸気口エア フィルタは、下部リア パネルの裏側にあります。図 11 を参照してください。

注意：下部リア パネルの裏側にある部品は、非常に熱くなっている可能性があります。

注意：下部リア パネルは、ハンドルを使って取り外すことをお勧め致します。

Magnus 800 Z-Speed プレートセッターの冷却器

Magnus 800 Z-Speed プレートセッターは、TH3 レーザー ヘッドを冷却する冷却器に接続されています。

警告：各冷却器にはインストール、運用、および基本保守のマニュアルが付属しています。このマニュアルは、冷却器のメーカーによって作成されたものです。オペレータは冷却器の運用に先立ち、マニュアルに記載されている冷却器のすべての安全手順および警告を読み、それに従う必要があります。オペレータはさらに、冷却器本体に貼られているすべての安全ラベル、警告ラベル、注意ラベル、および危険ラベルに従う必要があります。

Magnus 800 Z-Speed プレートセッターの警告ラベル

Magnus 800 Z-Speed プレートセッターではさらに、次の警告ラベルが貼られています。



ラベル 1：382-00894A

Magnus 800 Z-Speed プレートセッターの警告ラベルの位置

Magnus 800 Z-Speed プレートセッターではさらに、次の警告ラベルが貼られています。

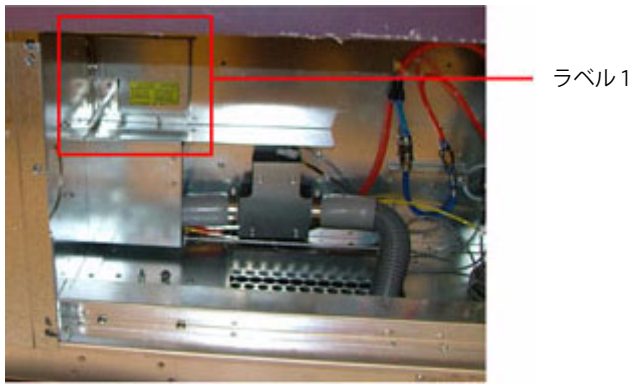


図 20：下部リア パネルを取り外した状態の Magnus 800 Z-Speed プレートセッターの背面

換気口

Magnus 800 プレートセッターの換気口の配置には、2 種類の形式があります。換気口の配置は、プレートセッターのシリアル番号によって決まります。

一部の Magnus 800 プレートセッターでは、換気口がプレートセッターの背面のみに配置され、右サイドにはありません。



図 21：プレートセッターの背面の換気口

一部の Magnus 800 プレートセッターでは、換気口がプレートセッターの右サイドのみに配置され、背面にはありません。



図 22：プレートセッターの右サイドの換気口

注意：換気口を塞いだり、覆ったり、遮ったりしないでください。

警告：換気口やその他すべてのプレートセッターの開口部には、いかなる種類の工具および異物も挿入しないでください。

騒音発生レベル

Magnus 800 プレートセッターの騒音発生レベルは、製造工場の記録では、70 dBA を超えることはありませんでした。

ステータス ライト

ステータス ライト カバーはステータス ライト ボードを保護しています。ステータス ライト ボードには、ステータス ライト カバーの保護なしで直視すると、目に有害で危険な発光ダイオードが含まれています。このカバーが壊れたり、損傷している場合は、プレートセッターの電源を切って、サービス エンジニアに連絡してください。



注意：クラス 2 LED ライトを使用しています。開いている場合は、光を直視しないでください。

プレートの取り扱い

プレートの縁は鋭利になっています。取り扱いを誤ると、手を切ってしまう恐れがあるため注意してください。



注意：プレートを取り扱う際には、手袋を着用することをお勧め致します。



注意：自分が持つことのできる範囲内でプレートを持つようにしてください。重い物体を持つ際には、標準的な注意や警告に従って十分な注意を払ってください。

プレートセッターの露光の準備が整うと、プレートは自動的にロードされます。また、露光が終わると、背面の排出トレイから自動的にアンロードされます。



警告：プレートは自動的にアンロードされるので、排出口の近くには立たないでください。

詰まったプレートの除去

プレートセッター内に詰まったプレートを取り除く際は、特に注意が必要です。



危険：プレートの縁は非常に鋭利で、目や体に触れると深刻な怪我をする可能性があります。トップ パネル、ローディング プラットフォーム、またはアンローディング プラットフォームを上げ下ろししたり、詰まったプレートを取り除く作業を行うためにパネルを取り外す場合は、必ずプレートの場所を確認し、怪我をすることのないように注意してください。



警告：プレートを取り外す前に、プレートの端、ドラム、および他の部分に絡まる可能性があるネクタイやアクセサリーはあらかじめ外し、衣服の一部が巻き込まれないように充分注意してください。また、長い袖はまくり上げ、長い髪はまとめておいてください。

プレートをカットしてしまうことなく、そのままの状態で取り除くようにしてください。

ドラム バキューム吸引口

ドラム バキューム吸引口には、ゴミや埃がたまります。バキュームが効率的に動作するには、吸引口がふさがれないように、定期的にゴミや埃を取り除く必要があります。コダックは、清掃に使用するためのドラム吸引口キットを用意しています（パーツ ナンバー：690-00127A）。ドラム バキューム吸引口の清掃には、ドラム吸引口キットの道具を使用してください。他の道具は使用しないでください。

電源、給気管

ユーザーがプレートセッターの電源や給気管を取り替えたり、変更することはできません。たとえば、電気コンセント、エア レギュレータ、またはエア フィルタなどは取り替えないでください。

警告：サービス エンジニアが設置した電源を変更しないでください。電源コードの配線を変えないでください。給気管の位置を変えないでください。

リチウム電池

Magnus 800 Controller コンピュータにはリチウム電池が含まれていますが、オペレータがこれを交換することはできません。認定サービス担当者に依頼してください。

警告：電池を正しく交換しないと爆発の恐れがあります。

ケーブル カバー

設置時に、コダック担当者はケーブルを保護するケーブル カバー（モール）を取り付けます。ケーブル カバーを移動したり、取り外したりしないでください。

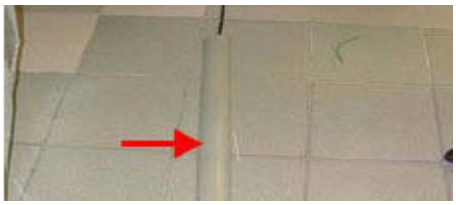


図 23：ケーブル カバー

撤去

Magnus 800 プレートセッターの撤去は、認定サービス担当者にお任せください。

コダック グラフィック コミュニケーションズ株式会社
〒101-0062
東京都千代田区神田駿河台 2-9 KDX 御茶ノ水ビル

Kodak, 2007. All rights reserved.
TM：Kodak、Creo、Magnus、Thermoflex

コダックからの詳しい情報については、
次のサイトにアクセスしてください。
http://graphics.kodak.com/

仕様および機能は予告なしに変更されることがあります。